

# 「学校における業務改善」

## 「鹿児島市立春山小学校」の実践紹介

### 効果が期待される取組

教材研究や分掌事務を行う時間をより確保するための校時表の工夫

#### 実施前の課題

- ◎ 通常校時で行っていた毎週1回の学年会は、30分程度しか確保できておらず、どうしても終業時刻を過ぎる学年が多かった。
- ◎ 子どもたちのためになると考えれば様々な準備等に時間をかけてしまう職員が多く、集中し過ぎるあまり、遅くまで残りがちになる職員が複数いた。

#### 実施後の成果

- ◎ 水曜日によく見られていた、終業時刻を過ぎてまでの学年会は無くなった。
- ◎ 放課後の時間を活用した教材研究や校務処理が効率的に行われるようになり、遅くまで残る職員の数が減ってきた。

### 業務改善を目指した取組の詳細

やるべきことややりたいことがあれば時間を超えてでもやってしまいがちになるため、物理的な対応を工夫することにした。仕事を減らすことは難しいが、仕事をするための時間を増やすことは可能である。そこで次のように校時表の見直しを行った。

- ◆ A校時……通常校時（朝の活動・清掃有り）
- ◆ B校時……通常校時から朝の活動を抜いた校時（放課後の時間を50分確保）
- ◆ C校時……B校時から更に清掃を抜いた校時（放課後の時間を70分確保）
- ◆ 土曜校時…B校時が3校時で終わる校時（放課後の時間を40分確保）

月火木金曜日はA校時である。水曜日はC校時とし、放課後は学年会・教材研究の時間としている。また教育相談等、放課後に行事を組む場合は、B校時で対応している。さらに、学期末など事務時間の確保が必要な時期は、B・C校時を組んだ上で、放課後の行事も計画せず、事務時間を確保している。（各学期末に7日程度）

#### 今後の課題・計画

- ◎ 令和元年度までの取組だけでは、教材研究等の時間が足りているとは言えない。そこで令和2年度は教材研究等の時間を確保するため、週時数を減らした教育課程を編成した。
- ◎ 行事等の精選についてはこれまでも十分に行ってきており、今後は、これまでにない視点での英断を考える時期に来ているかもしれない。

